

2010. 2. 26 (金)

徳島新聞

鳴門病院に徳大医師

4月から 2人派遣 常勤、循環器科存続へ

健康保険鳴門病院（鳴門市の撫養町黒崎）循環器科の医師4人全員が3月末で辞職する問題で、同

病院は25日、4月に新たに常勤の男性医師2人が着任すると発表した。規模は縮小するものの、循環器科閉鎖という最悪の事態は免れた。

医師2人は徳島大学病院から派遣される。4月1日付で配属され、研修などを経て準備が整い次第、診療を始める。2人のほか、常勤医をサポートする非常勤医が随時派遣される予定で、カテーテルやペースメーカー移

植などの手術も従来通り行う。ただ、医師数の減少で循環器科の規模縮小は避けられず、病院は外来・入院患者の大幅削減に取り組んでいる。現在抱えている約千人の外来患者には、順次かかりつけ医を紹介。4月からは緊急時と初診を除き、かかりつけ医の紹介がない患者は原則受け入れない。また、現在は外来患者を医師2人で診察してい

るが、4月からは1人で対応し、もう1人は検査や手術の立ち会いなどに当たる。入院病棟の約40床も25床に減らす。

同病院の山本克人事務局長は「循環器科は非常に重要な部門なので、現状と同じ4人を確保できるように引き続き努力したい」と話した。